

平成 24 年度長野県公立高等学校入学者選抜に関する アンケートの集計結果について

高 校 教 育 課

長野県教育委員会では、平成 16 年度公立高等学校入学者選抜から前期選抜を導入してまいりましたが、平成 23 年度入学者選抜から「前期選抜の実施を各高等学校の判断に委ねる」ことを柱とする前期選抜の改革を決定し、28 校の全日制普通科で前期選抜を実施しませんでした。

そこで、昨年度に引き続き平成 24 年度の入学者及びその保護者、中学校の郡市校長会長並びに公立高等学校長に対して、前期選抜改善に関するアンケート調査を実施しました。その概要がまとめられましたので報告いたします。

1 調査対象及び調査期間等

調査対象	調査期間	回答数
入学者（全日制、定時制）	平成 24 年 4 月下旬～5 月下旬	16,061(回収率 96.6%)
入学者（ " ）の保護者	平成 24 年 4 月下旬～5 月下旬	12,986(回収率 78.2%)
中学校郡市校長会長	平成 24 年 5 月中旬～6 月上旬	16 郡市
公立高等学校長(副校長含む)	平成 24 年 5 月中旬～6 月上旬	公立高等学校（85 校） 地域キャンパス校(2 校)

2 集計結果の概要について

- (1) 公立高等学校入学者及びその保護者に対するアンケートの集計結果 [別紙 1]
- (2) 中学校郡市校長会長に対するアンケートの集計結果 [別紙 2]
- (3) 公立高等学校長に対するアンケートの集計結果 [別紙 3]

[別紙 1]

公立高等学校入学者及びその保護者に対する
平成 24 年度入学者選抜に関するアンケートの集計結果

〔概要〕

前期選抜の改善について、「後期選抜に向けて学習に集中できる」と答えた人が昨年よりやや増え、「学力以外の実績や意欲を評価してもらう機会が少なくなる」、「不合格を恐れ自由な出願がしにくくなる」と答えた人がやや減った。

前期選抜を実施しない学校の選抜に対して、「このままの選抜方法で良い」と答えた人が昨年よりやや増えた。

前期選抜を志願した人もしなかった人も、募集の観点に当てはまるかどうかを重視する人がやや増えた。

募集の観点については、わかりやすく具体的になるよう要望する声が多い。

前期選抜に向けた準備、練習ができてうまく自分を表現することができた、と答える人がやや増えた反面、面接などの実施方法に改善を求める声が多かった。

集計結果の概況

集計結果の「A」は前期選抜を実施しなかった学校を、「B」は前期選抜を実施した学校を表す。

「H23 入学者」は平成 23 年度入学者全体を、「H23 保護者」は平成 23 年度保護者全体を表す。

(1) 前期選抜を志願しなかった入学者は 56% でした。

[質問] あなたは前期選抜に志願しましたか。(問 1)

	入学者全体	A 入学者	B 入学者	H23 入学者
本校を志願した	38.7 %	1.4 %	64.7 %	37.8 %
他の公立高校を志願した	4.8 %	2.0 %	6.8 %	6.0 %
志願しなかった	56.0 %	96.1 %	28.1 %	55.8 %
無回答	0.5 %	0.5 %	0.4 %	0.5 %

(2) 前期選抜に志願した理由は、自分が募集の観点に当てはまると考えた入学者が 38% でした。受検したいと思っていた学校だったからと考えた入学者は 30% でした。

[質問] どのような理由で志願しましたか。(問 2)

	入学者全体	保護者	H23 入学者
自分が募集の観点に当てはまると思ったから	38.0 %	44.3 %	36.6 %
自分が募集の観点に当てはまらないかもしれないが、受検したいと思っていた高校だったから	30.4 %	22.5 %	31.4 %
入学したい高校が他にもあったが、早く合格を決めて安心したかったから	4.2 %	2.5 %	4.8 %
受検のチャンスを生かした方が有利だと思ったから	14.2 %	19.7 %	13.3 %
親や先生に勧められたから	8.1 %	5.9 %	8.1 %
まわりの友達も受検するから	0.9 %	0.5 %	0.9 %
その他・無回答、よくわからない(保護者のみ)	4.2 %	4.6 %	5.0 %

(3) 前期選抜に不合格となった受検者が同じ高校の後期選抜を志願しなかった理由は、前期選抜では可能性にかけ後期選抜では確実性を考えて受検した人が 41%、不合格となったことで自信を失い別の高校を受検した人が 21%でした。

[質問] 同じ高校を志願しなかった理由はなぜですか。(問3)

	入学者全体	A入学者	B入学者	H23入学者
受検したいと思った高校が前期選抜を実施しなかったから	6.7 %	21.4 %	3.7 %	8.0 %
後期選抜では前期選抜と別の学科を志願しようと思ったから	7.4 %	4.6 %	7.9 %	9.5 %
前期選抜では可能性にかけ、後期選抜では確実に合格する高校を考えたから	41.2 %	30.5 %	43.3 %	41.2 %
前期選抜で不合格になったため、同じ高校を受検する自信がなかったから	20.8 %	11.5 %	22.7 %	20.5 %
前期選抜で不合格にされた高校をまた受検したくはなかったから	6.6 %	9.2 %	6.1 %	6.8 %
その他・無回答	17.3 %	22.8 %	16.3 %	14.0 %

(4) 前期選抜を志願しなかった理由は、受検しようと考えた高校で前期選抜を実施しなかったからと答えた入学者が 60%でした。

[質問] (前期選抜を志願しなかった人に対する質問)どのような理由で志願しませんでしたか。(問4)

	入学者全体	A入学者	B入学者	H23入学者
受検したいと思った高校が前期選抜を実施しなかったから	59.8 %	80.7 %	10.3 %	62.2 %
自分は募集の観点に当てはまらないと思ったから	7.7 %	4.4 %	15.6 %	6.8 %
前期選抜の倍率が高くなりそうなので、合格は難しいと思ったから	4.2 %	1.2 %	11.2 %	3.9 %
不合格になるとショックが大きく、後期の学力検査に影響すると思ったから	4.6 %	1.3 %	12.4 %	4.0 %
後期選抜の学力検査の方が実力を発揮できると思ったから	8.5 %	5.1 %	16.8 %	8.1 %
親や先生に後期だけにした方がよいと勧められたから	7.6 %	2.0 %	21.0 %	6.8 %
その他・無回答	7.6 %	5.3 %	12.7 %	8.2 %

(5) 入学者の回答で最も多かったのは、自由な志願がしにくくなるというものでした。続いて、不公平感がない、学習に集中できるという意見が多くありました。

[質問] 全日制 28 校において前期選抜を実施しなかったことについてどのように考えますか。(問5、複数回答)

	入学者全体	保護者	H23入学者
以前は前期選抜で不合格者が多数出たが、それが解消される	18.8 %	19.4 %	18.4 %
学力検査と調査書により合否が判定されるので、選抜基準が明確になり不公平感がない	43.3 %	56.9 %	43.6 %
前期選抜の準備をしないですむので、後期選抜に向け学習に集中できる	42.0 %	41.4 %	40.6 %
前期選抜の合格者が少なくなるので授業に集中できる	18.1 %	18.9 %	17.7 %
入学者会、部活動、ボランティアなど、授業以外の実績を生かす機会が少なくなる	33.1 %	22.1 %	35.8 %
自分が得意とする学習分野や将来への希望・意欲などを評価してもらう機会が少なくなる	33.1 %	30.0 %	34.0 %
後期選抜しか受検できないので、不合格になることを恐れ、自由な志願がしにくくなる	45.1 %	29.3 %	46.5 %
その他・無回答	2.8 %	9.3 %	9.4 %

(6) 87%の入学者がこのままの選抜方法でよいと答えており、昨年よりやや増えています。

[質問] 前期選抜を実施しない学校では、今後入学者選抜において何か工夫が必要であると思いますか。(問6)

	入学者全体	A入学者	B入学者	保護者全体	A保護者	B保護者	H23入学者	H23保護者
このままでよい	87.1 %	90.1 %	85.0 %	51.7 %	63.9 %	43.5 %	84.2 %	52.3 %
工夫が必要であると思う	10.2 %	7.4 %	12.2 %	10.4 %	7.2 %	12.6 %	11.9 %	11.7 %
その他・無回答、よくわからない(保護者のみ)	2.7 %	2.5 %	2.8 %	37.9 %	28.9 %	43.9 %	3.9 %	36.0 %

(7) 入学者、保護者ともに前期選抜の趣旨や募集の観点について理解できたと考えています。

[質問] 各高校や中学校での前期選抜についての説明はよく分かりましたか。(問9)

	入学者全体	保護者	H23 入学者
よくわかった	28.6 %	17.8 %	28.0 %
だいたいわかった	53.2 %	50.3 %	54.0 %
よくわからなかった	5.9 %	10.4 %	5.9 %
どちらともいえない	8.8 %	14.6 %	8.2 %
その他・無回答	3.5 %	6.9 %	3.9 %

[質問] 各高校で示した募集の観点の内容についてどのように思いましたか。(問10)

	入学者全体	保護者	H23 入学者
よくわかった	29.8 %	11.8 %	28.7 %
だいたいよくわかった	52.2 %	48.8 %	52.3 %
あまりよくわからなかった	7.9 %	17.4 %	8.3 %
学校によってはよくわからなかった	3.1 %	5.2 %	3.1 %
どちらともいえない・無回答	7.0 %	16.8 %	7.4 %

(8) 入学者、保護者ともに具体的な募集の観点や志願条件を示した方がよいと考えている人が多くいます。

[質問] 募集の観点の内容はどのようにするとよいと思いますか。(問11)

	入学者全体	保護者全体	H23 入学者
多数が志願できるように大まかな内容にした方がよい	22.9 %	6.4 %	22.3 %
不合格者が多くならないよう具体的志願条件を示した方がよい	41.7 %	32.9 %	41.5 %
興味関心や能力が募集の観点に当てはまるか具体的に示した方がよい	32.5 %	44.3 %	32.2 %
無回答、よくわからない(保護者のみ)	2.9 %	16.4 %	4.0 %

(9) 職業科の前期選抜において募集人員をこえて若干名の合格者を出したことについて、入学者の63%が、合格者が少しでも増えてよいと思うと考えています。

[質問] 職業科の前期選抜における募集人員をこえて若干名の合格者を出したことについてどのように思いますか。(問12)

	入学者全体	保護者	H23 入学者
合格者が少しでも増えてよいと思う	63.0 %	43.3 %	61.7 %
募集人員どおりの合格者数にすべきである	13.6 %	19.4 %	13.4 %
不合格者が多数である普通科や総合学科においても実施できるようにすべきである	7.2 %	11.5 %	7.4 %
現状では前期選抜の募集枠の上限が50%であるが、もっと多くした方がよいと思う	1.5 %	2.4 %	1.9 %
よくわからない	11.0 %	16.2 %	11.4 %
その他・無回答	3.7 %	7.2 %	4.2 %

(10) 入学者、保護者ともに前期選抜に向けてよく準備、練習をして臨み、うまく自分を表現できたと考える人が多くいます。

[質問] 志願理由書(自己PR文)についてどのように思いましたか。(問 13、複数回答)

	入学者全体	保護者	H23 入学者
自分をPRできてよかった	64.7 %	60.2 %	62.8 %
これを書くことで自分の志望動機や希望などをよくまとめることができた	66.1 %	75.9 %	64.4 %
何を書いているかわからなかった	50.3 %	23.5 %	51.2 %
指定された字数や書かなければならない量が多すぎると思った	15.0 %	10.0 %	15.0 %
もっといろいろ書かせてほしかった	13.1 %	7.2 %	12.8 %
その他・無回答、よくわからない(保護者のみ)	1.3 %	6.3 %	1.5 %

[質問] 「面接」についてどのように思いましたか。(問 14、複数回答)

	入学者全体	保護者	H23 入学者
面接の雰囲気がよくて自分を表現できた	47.0 %	37.7 %	47.1 %
中学校での面接の練習が役立った	70.8 %	55.7 %	68.7 %
もっと時間が短い方がよい	21.3 %	3.7 %	21.0 %
もっと時間をかけてやってほしい	11.9 %	7.7 %	11.2 %
面接官の態度や聞き方を工夫してほしい	18.5 %	12.7 %	17.9 %
面接の待ち時間が長い	25.5 %	10.9 %	26.4 %
その他、よくわからない(保護者のみ)	3.2 %	19.6 %	2.6 %

[質問] 「作文(小論文)」についてどう思いましたか。(問 15、複数回答、前期選抜受検者に対する割合)

	入学者全体	保護者	H23 入学者
自分の考えを自由に表現できてよかった	16.0 %	14.6 %	15.8 %
しゃべることが苦手なので文章表現で評価されてよかった	8.5 %	7.2 %	9.3 %
事前に練習したことで本を読んだり書いたりすることが好きになった	4.0 %	2.6 %	4.3 %
出題された内容が難しいと思った	8.6 %	4.3 %	9.7 %
もっと差がはっきりする内容にした方がよいと思った	3.0 %	2.1 %	3.8 %
学力検査でははかりにくい能力をみてもらえるのでよかった	8.2 %	11.0 %	8.8 %
とくにない(入学者のみ)、よくわからない(保護者のみ)	5.1 %	4.8 %	5.4 %
その他	0.4 %	0.7 %	0.3 %

(11) 前期選抜受検者のうち、不合格を覚悟で受検し合格した人は39%でした。

[質問] 前期選抜の受検結果はどうでしたか。また、その結果は自分の予想とどうでしたか。(問 17)

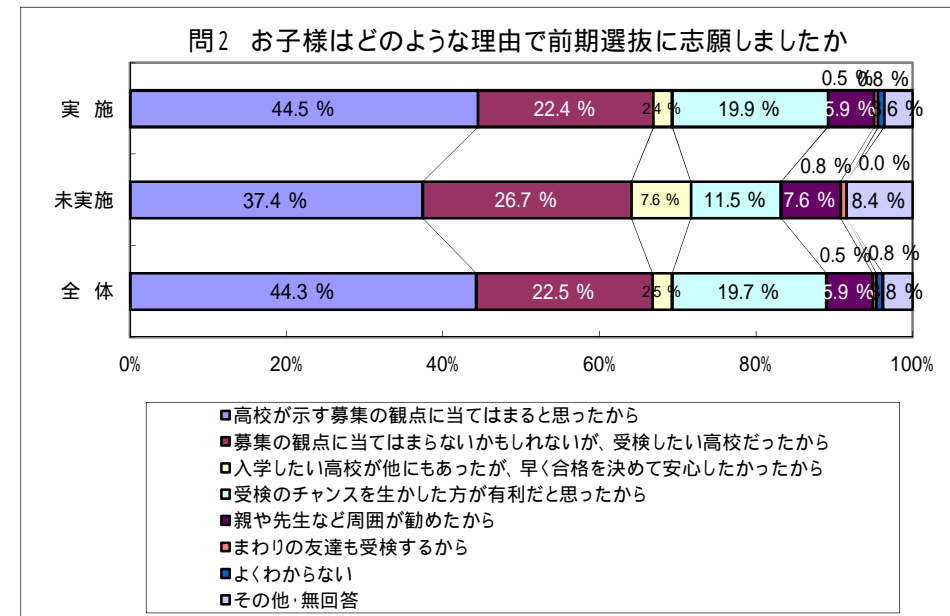
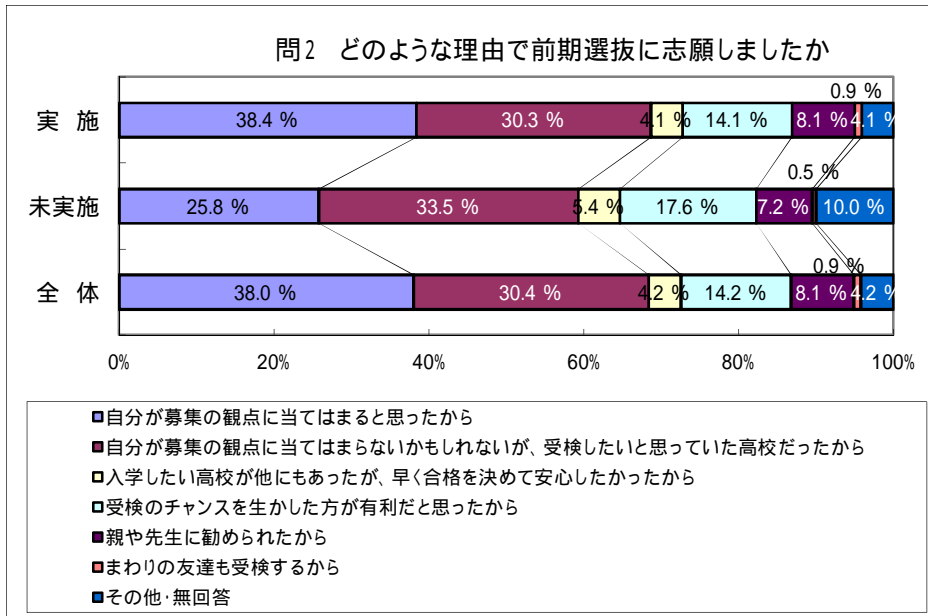
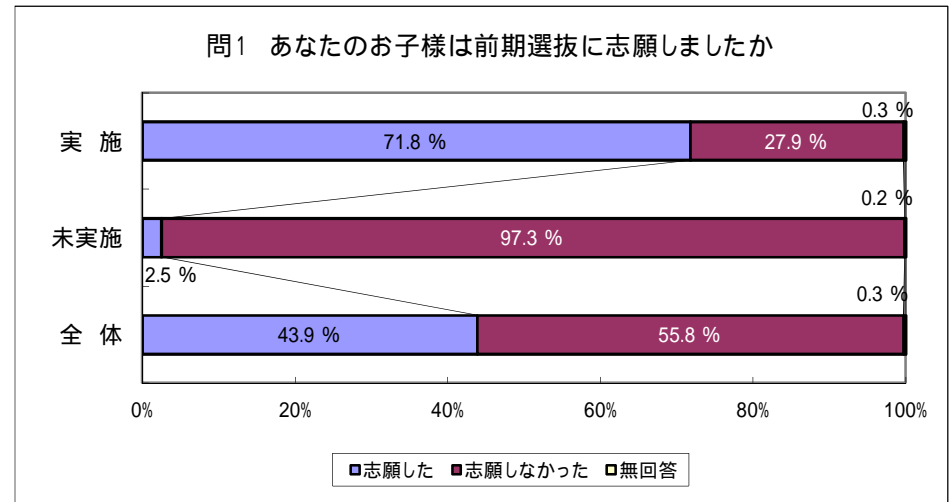
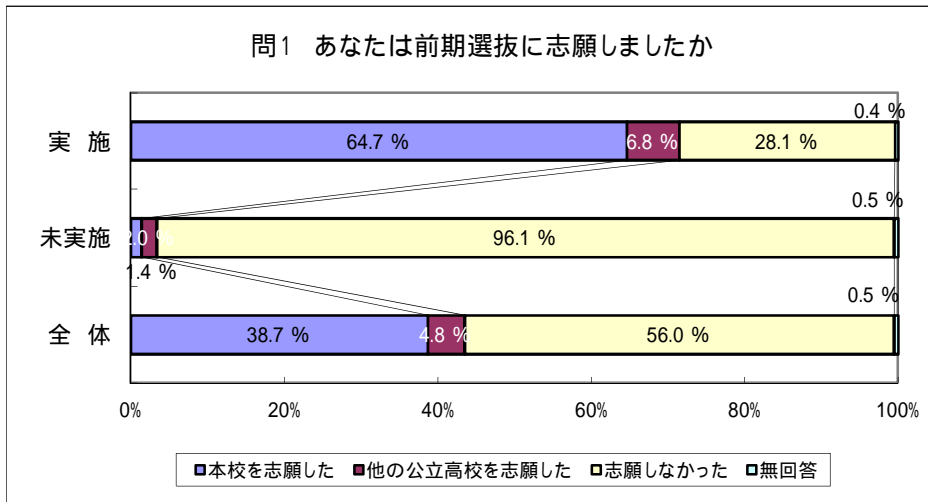
	入学者全体	保護者	H23 入学者
合格した(予想どおり)	23.7 %	33.9 %	23.0 %
合格した(不合格を覚悟していた)	39.1 %	29.1 %	37.8 %
不合格だった(予想どおり)	23.0 %	14.3 %	23.8 %
不合格だった(合格すると思っていた)	7.6 %	15.2 %	8.2 %
無回答	6.6 %	7.5 %	8.3 %

前期選抜への志願について

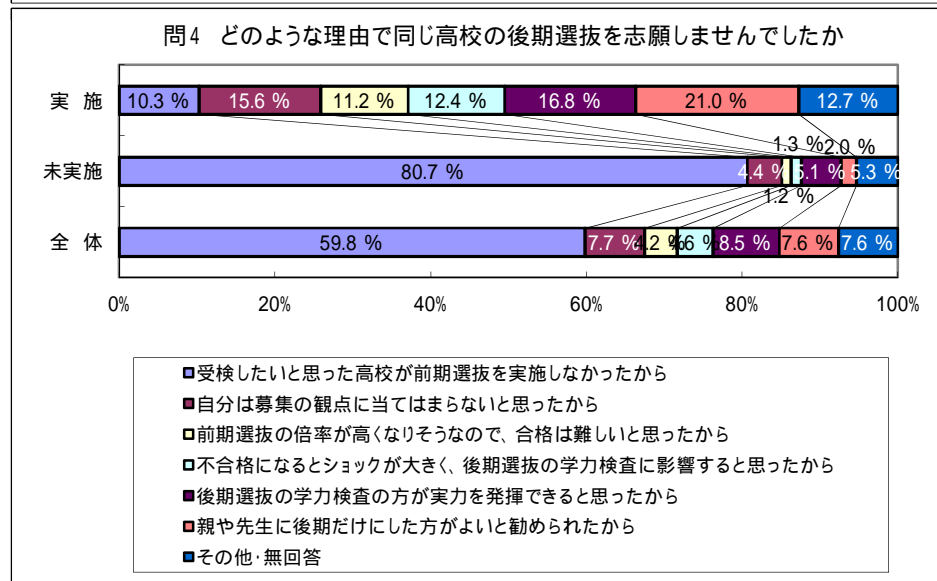
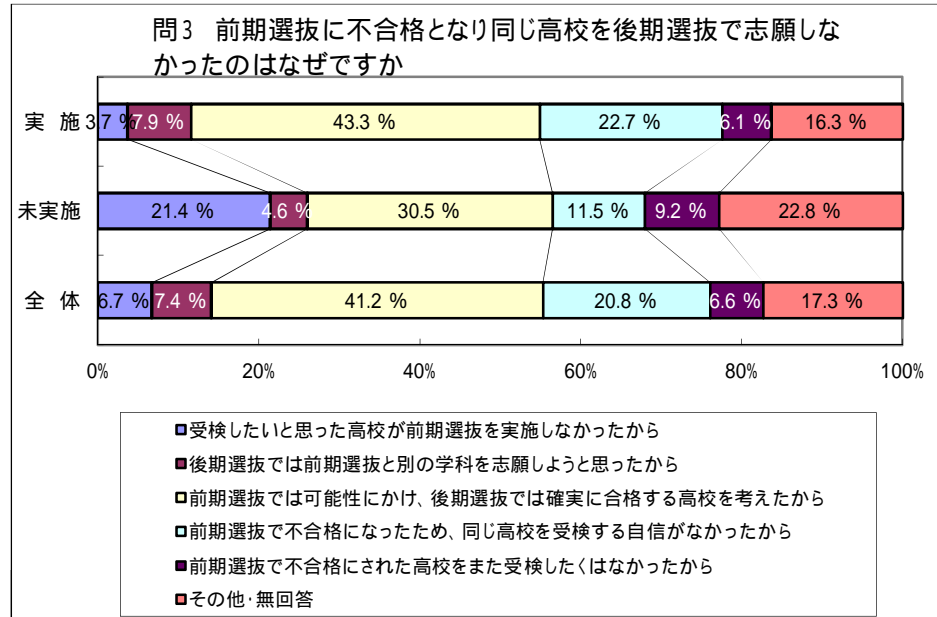
グラフ中の「実施」は前期選抜を実施した学科への入学者またはその保護者、「未実施」は前期選抜を実施しなかった学科への入学者またはその保護者、「全体」は入学者全体または保護者全体を表します。(いずれも回答者)

【入学者】

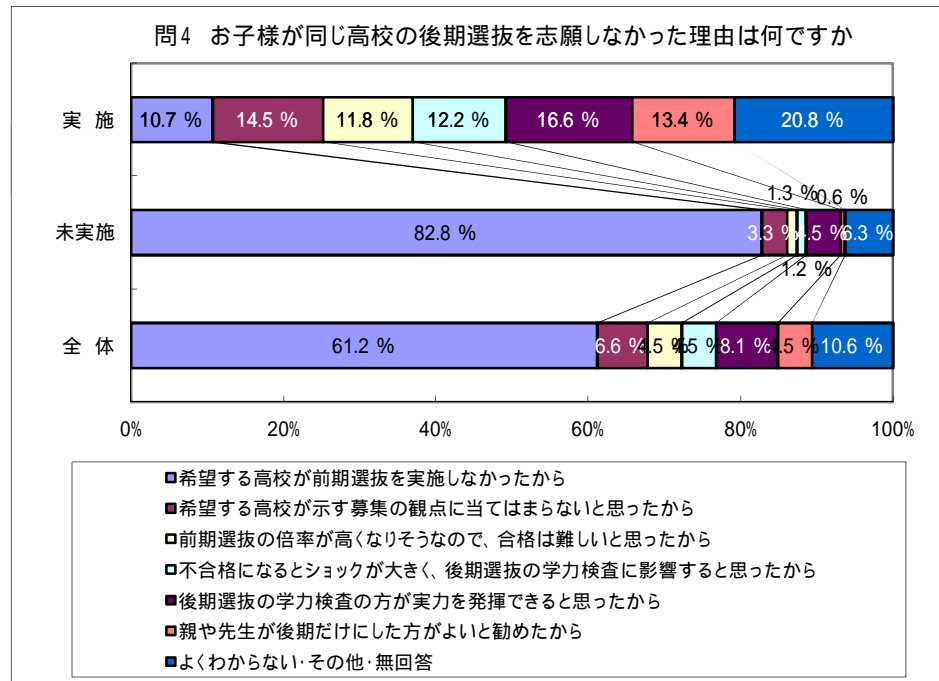
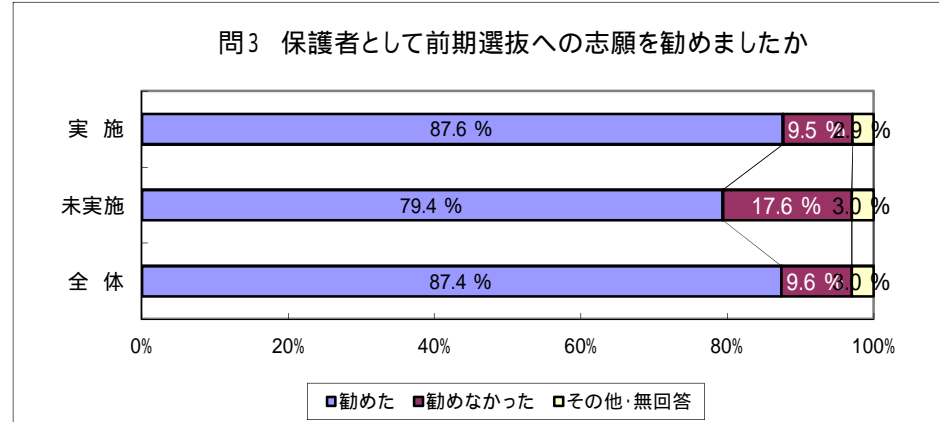
【保護者】



【入学者】

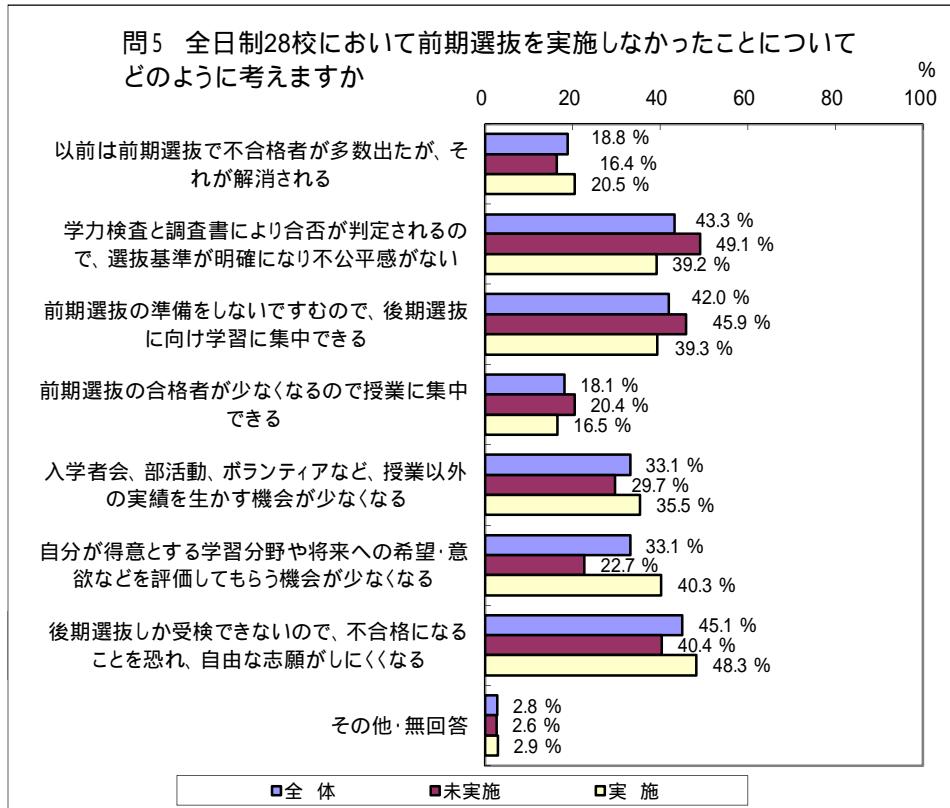


【保護者】

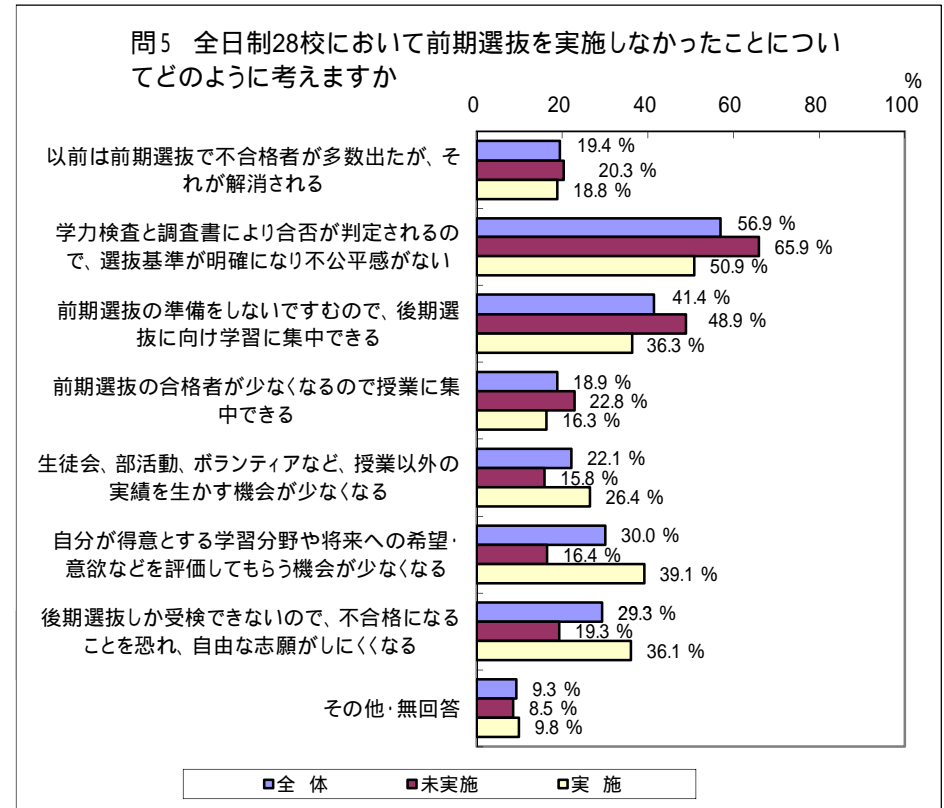


【入学者】

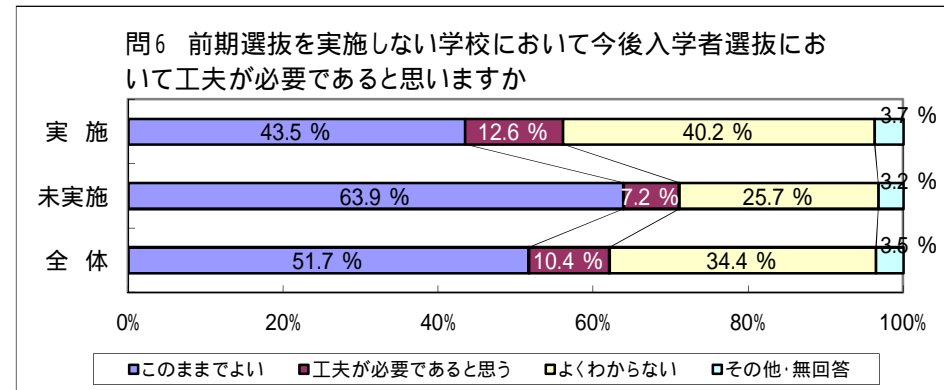
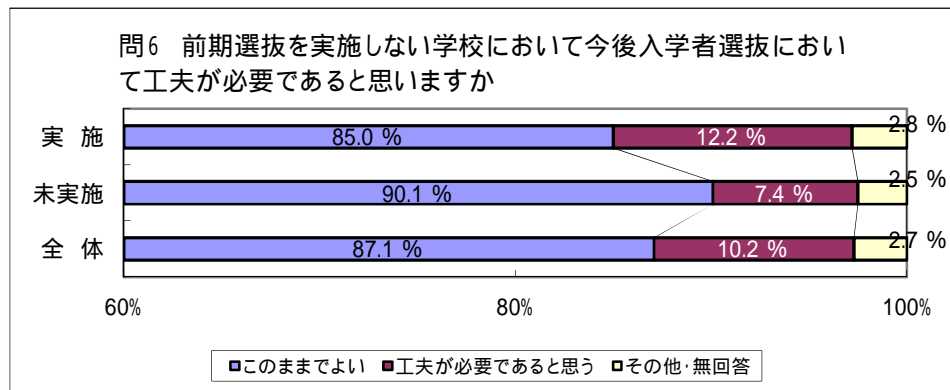
【保護者】



複数回答なので、回答者に対する割合で表しています。



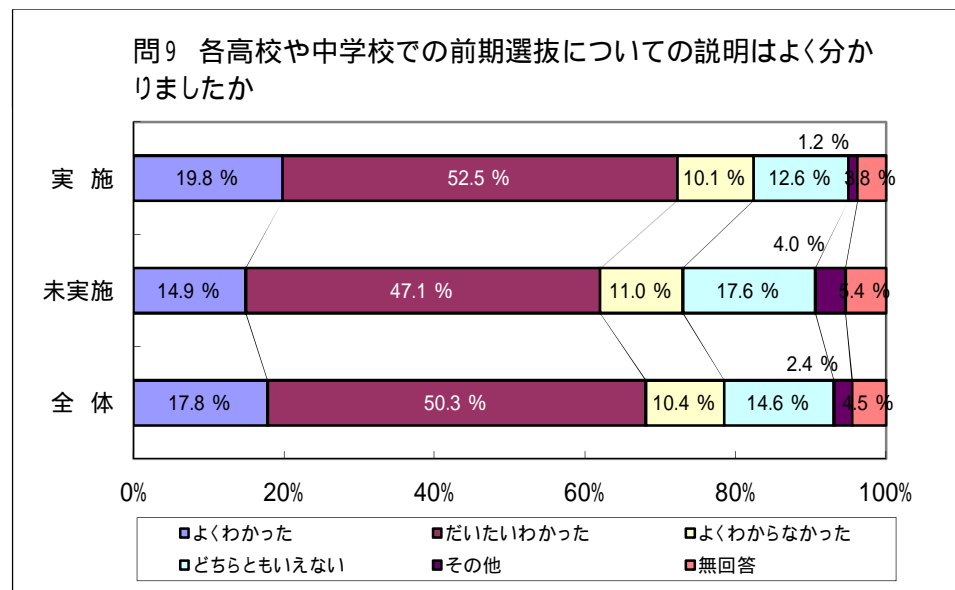
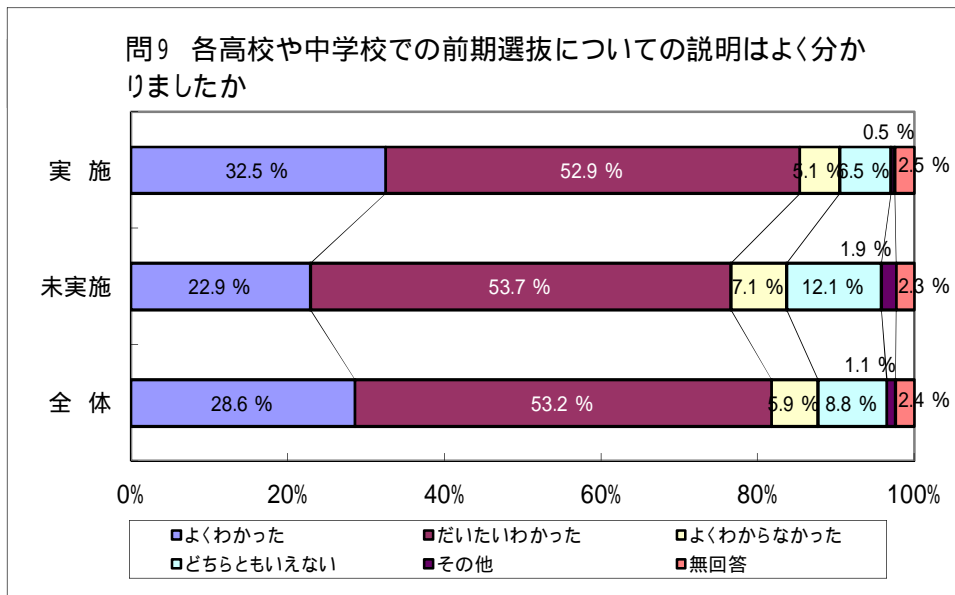
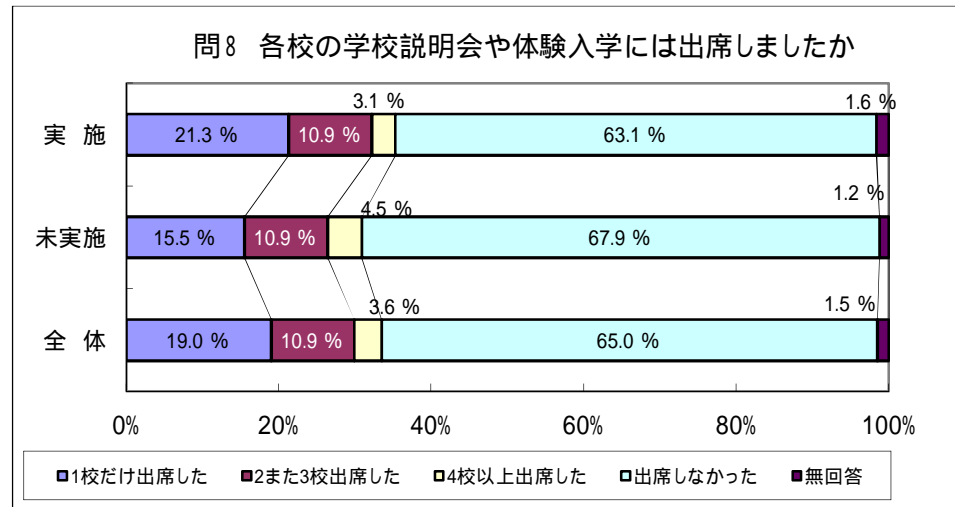
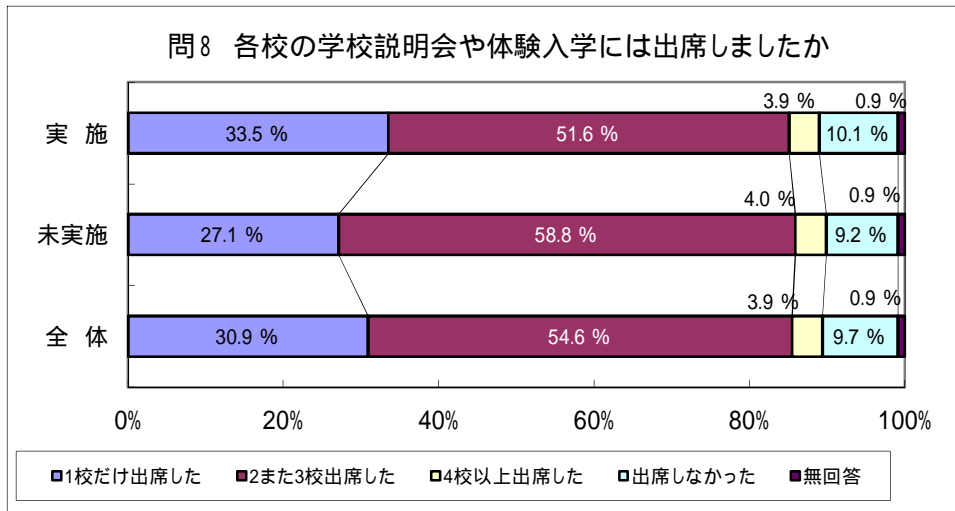
複数回答なので、回答者に対する割合で表しています。



引き続き前期選抜を実施する学校における選抜方法の改善及びその周知について

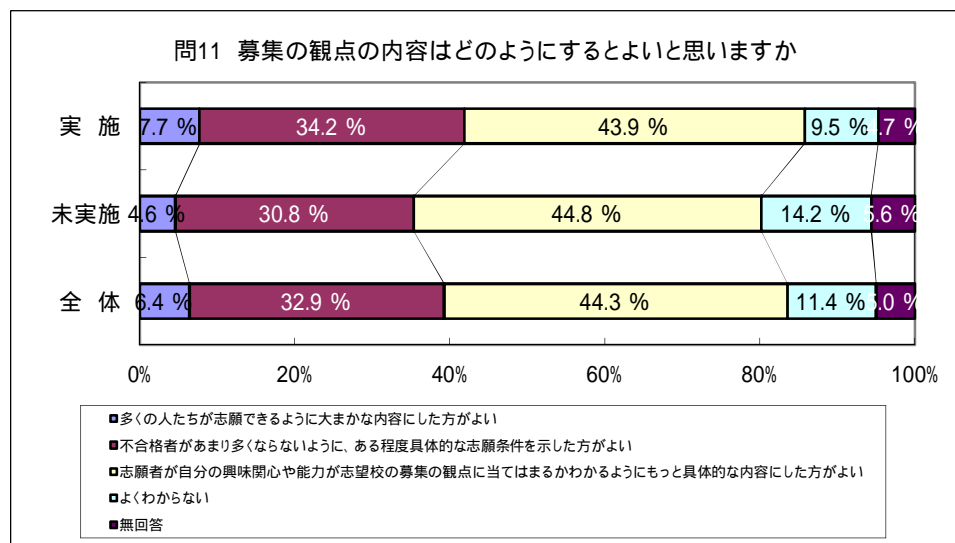
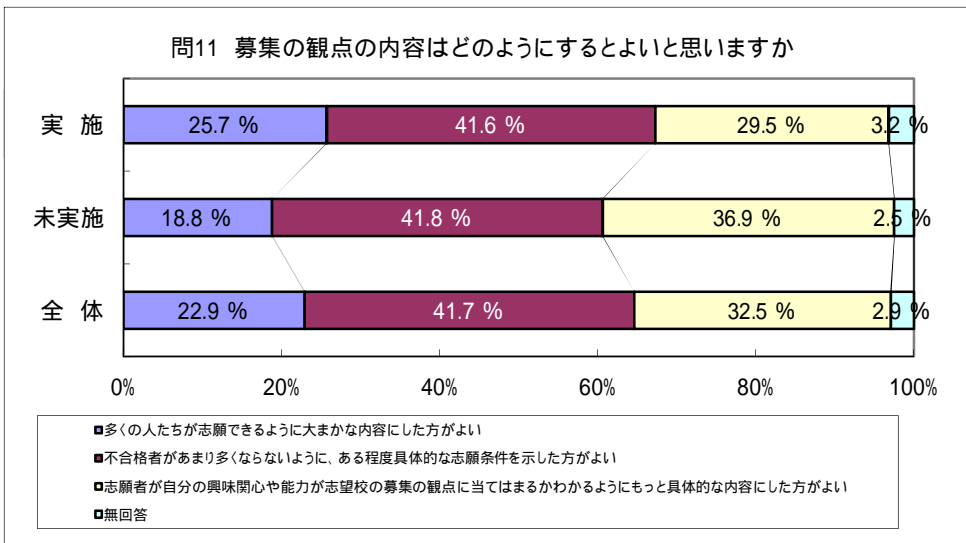
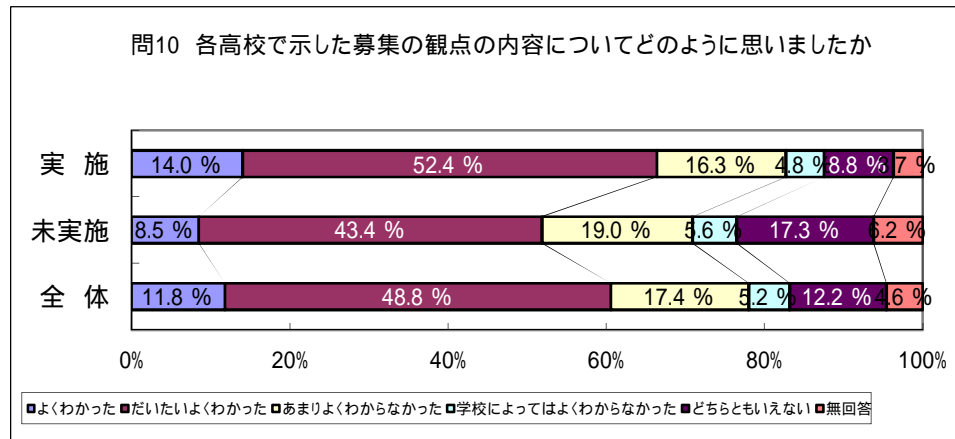
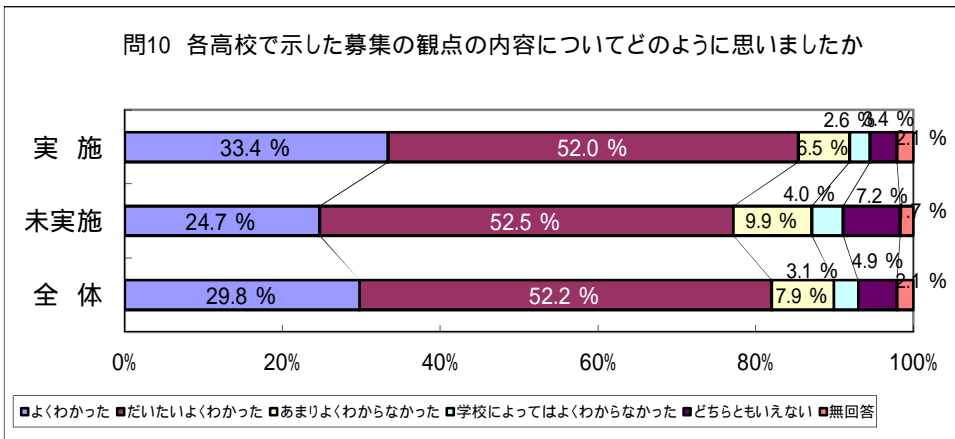
【入学者】

【保護者】



【入学者】

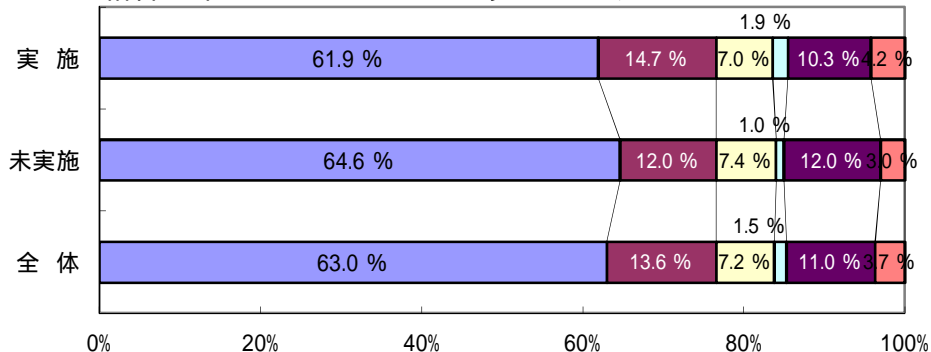
【保護者】



【入学者】

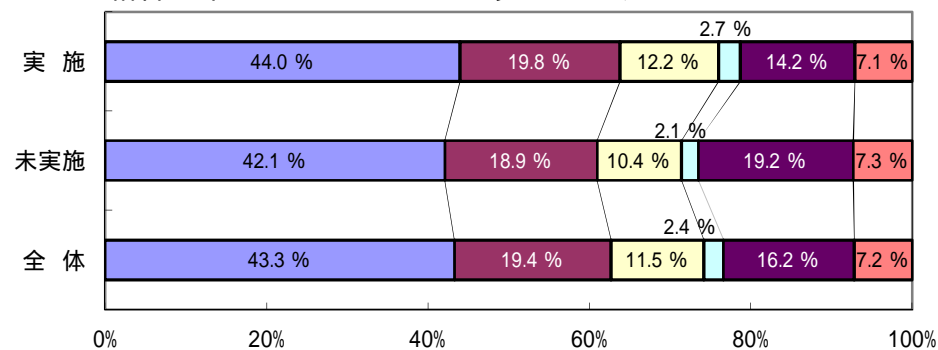
【保護者】

問12 職業科の前期選抜における募集人員をこえて若干名の合格者を出したことについてどのように思いますか



- 合格者が少しでも増えてよいと思う
- 募集人員どおりの合格者数にすべきである
- 不合格者が多数で普通科や総合学科においても実施できるようにすべきである
- 現状では前期選抜の募集枠の上限が50%であるが、もっと多くした方がよいと思う
- よくわからない
- その他・無回答

問12 職業科の前期選抜における募集人員をこえて若干名の合格者を出したことについてどのように思いますか



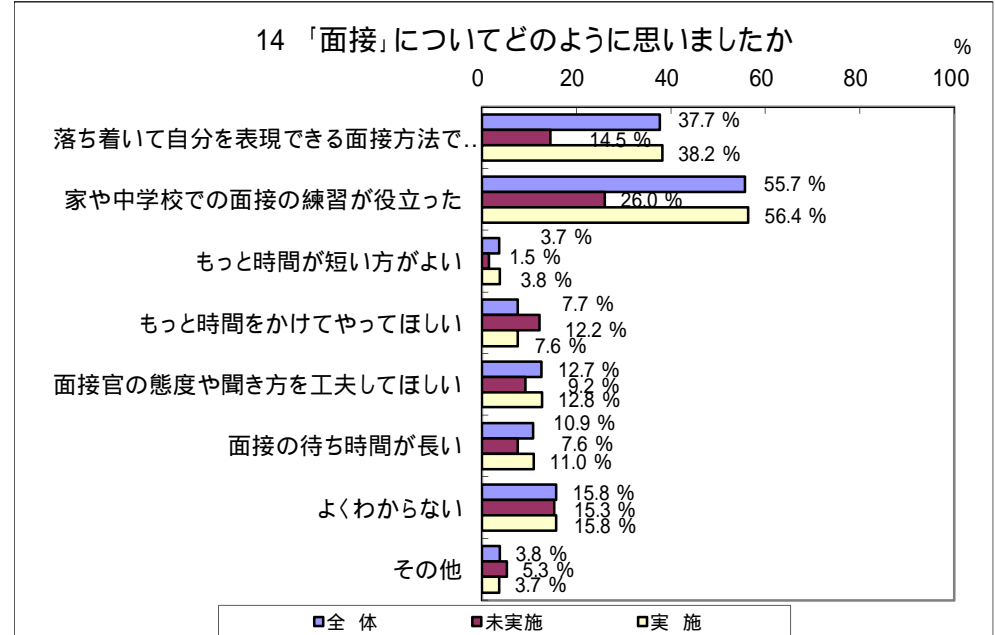
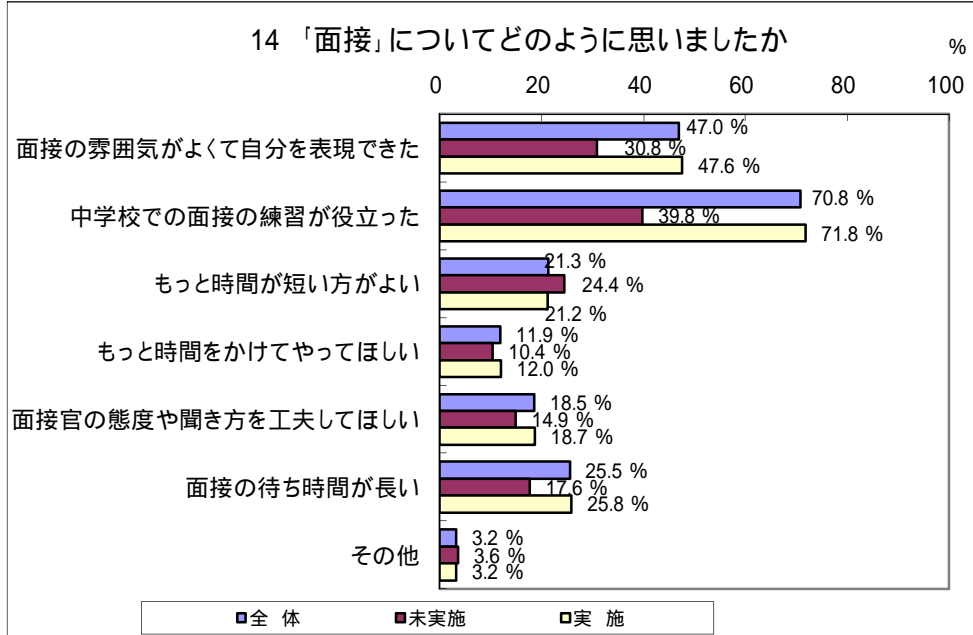
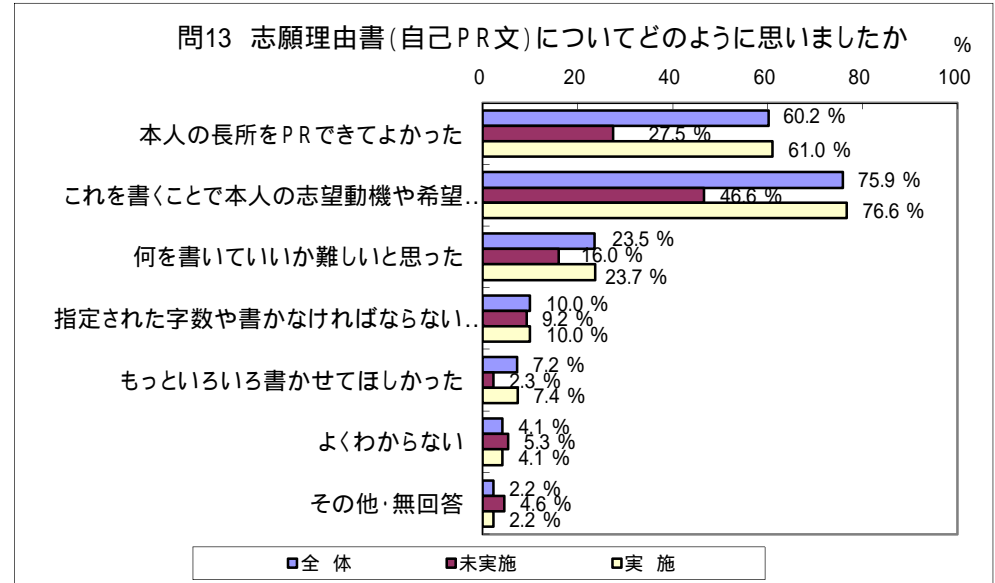
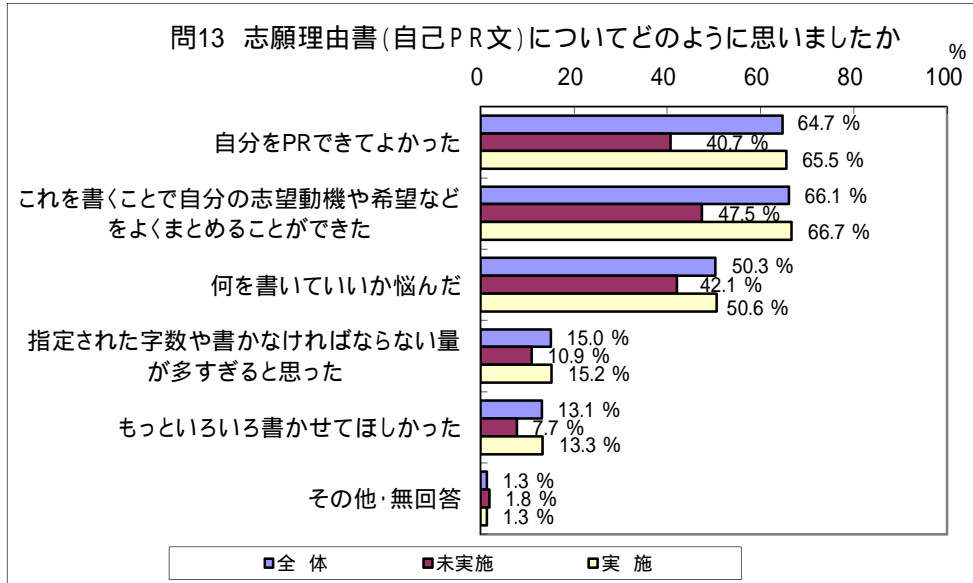
- 合格者が少しでも増えてよいと思う
- 募集人員どおりの合格者数にすべきである
- 不合格者が多数で普通科や総合学科においても実施できるようにすべきである
- 現状では前期選抜の募集枠の上限が50%であるが、もっと多くした方がよいと思う
- よくわからない
- その他・無回答

実際に前期選抜を受検して

(複数回答)前期選抜受検者に対する割合で表しています。

【入学者】

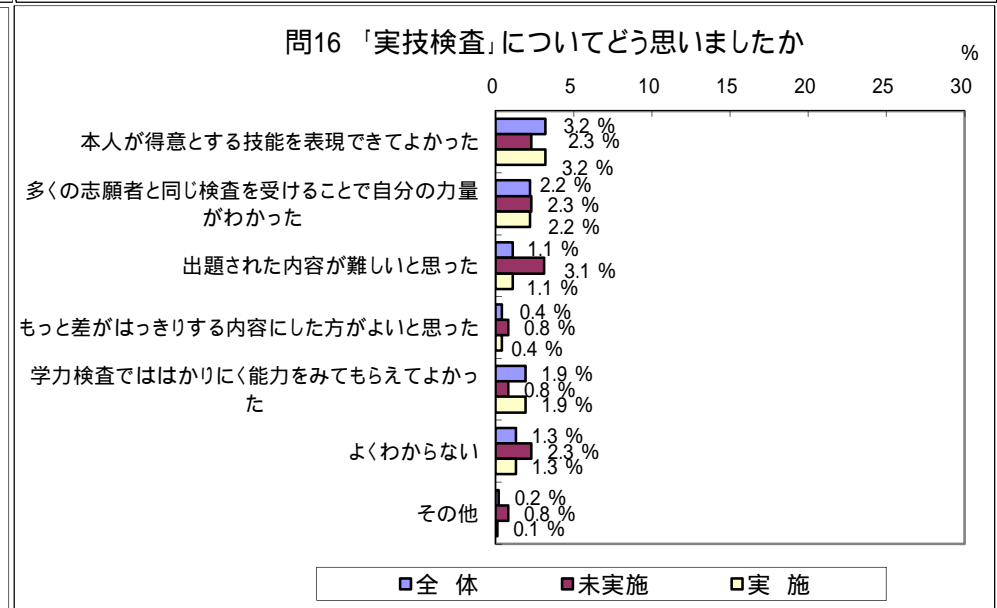
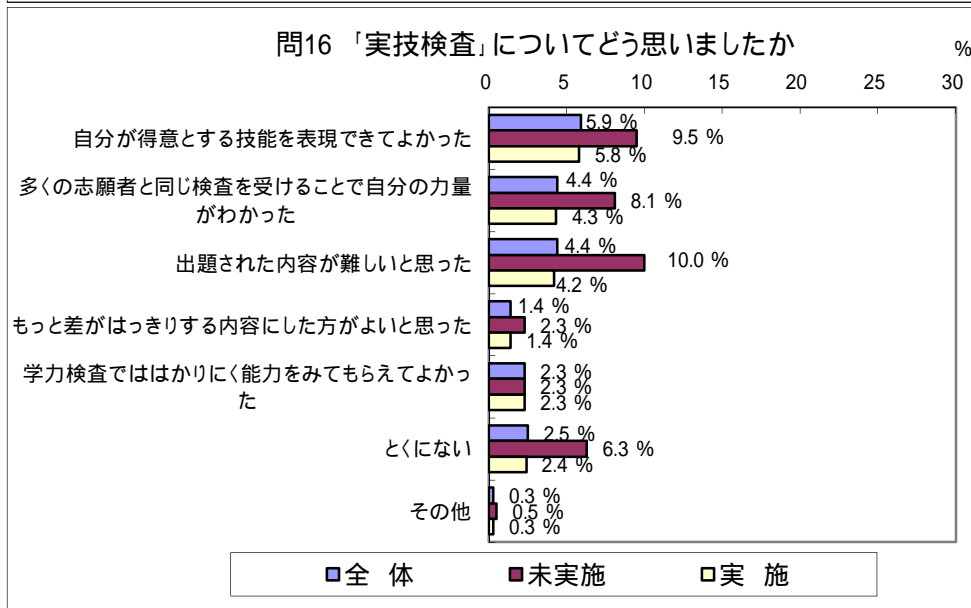
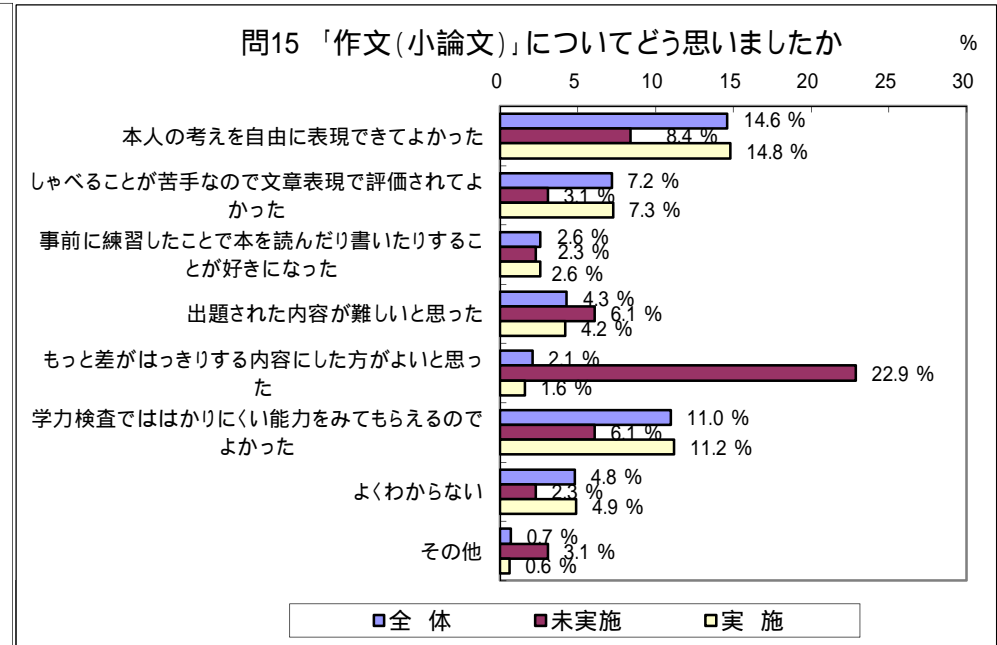
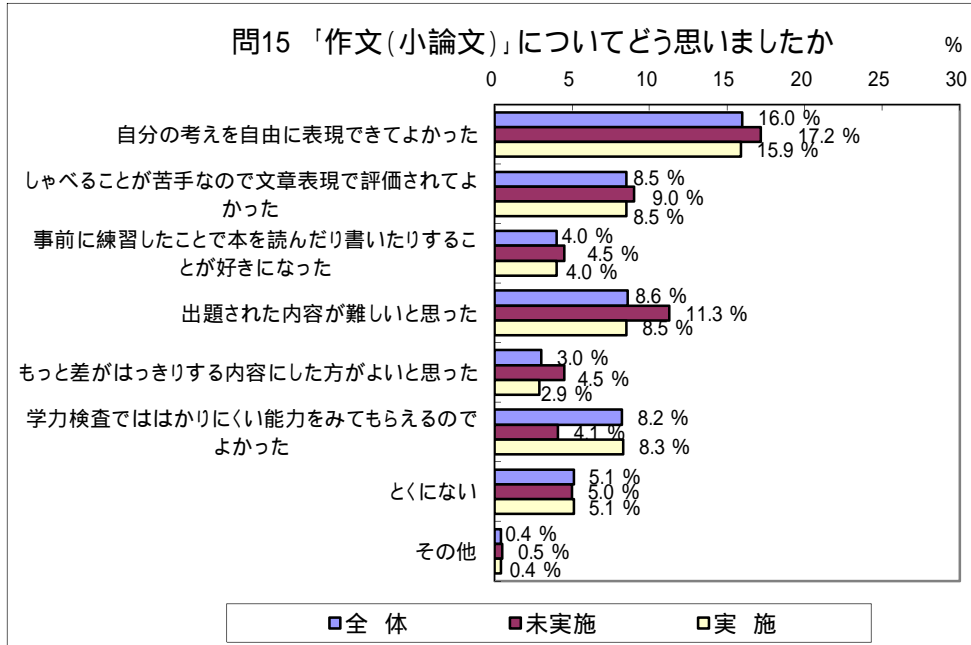
【保護者】



(複数回答)前期選抜受検者に対する割合で表しています。

【入学者】

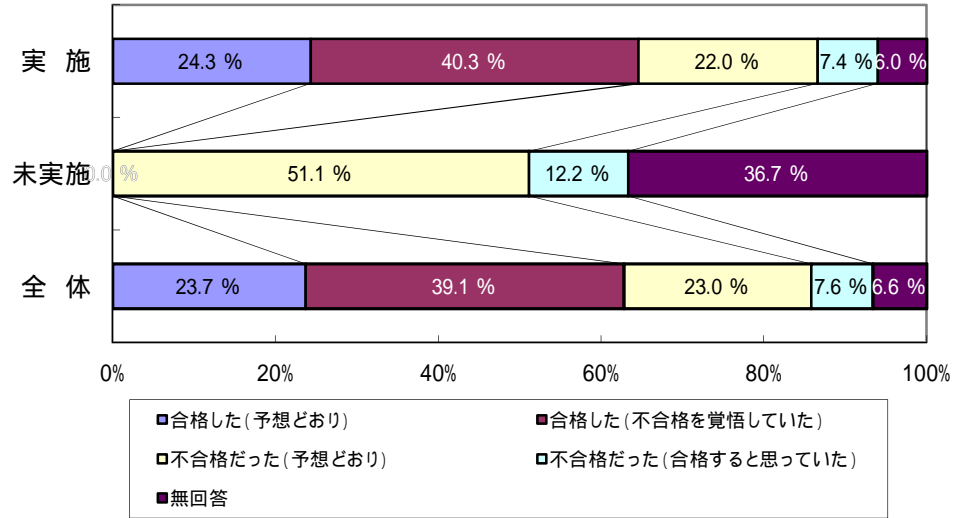
【保護者】



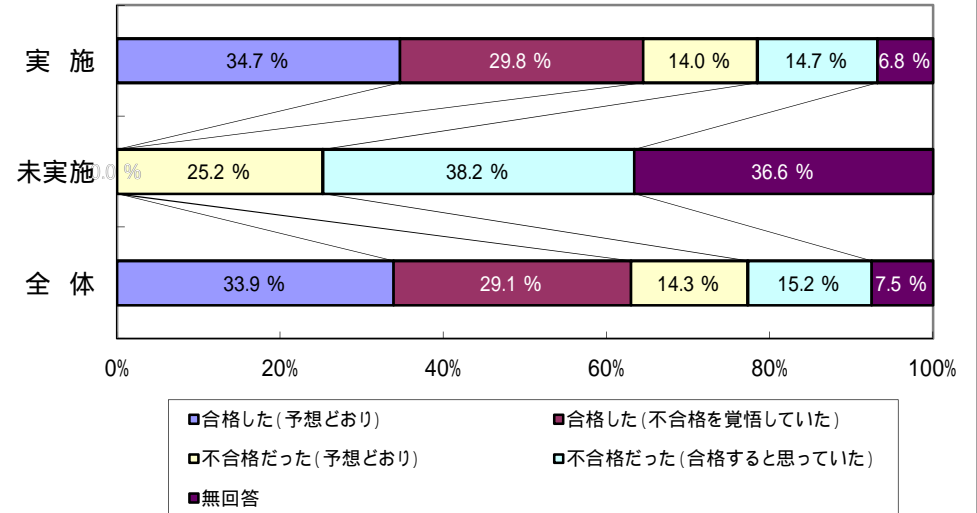
【入学者】

【保護者】

問17 前期選抜の受検結果はどうでしたか。また、その結果は自分の予想とどうでしたか



問17 前期選抜の受検結果はどうでしたか。また、その結果は自分の予想とどうでしたか



[別紙 2]

中学校郡市校長会長に対する
平成 24 年度入学者選抜に関するアンケートの集計結果

[概要]

「一人一人の志望に応じた進路指導に時間がかけられるようになった」、「面接、作文、志願理由書等の事前指導、事務処理などの負担が軽減された」など、昨年同様、進路指導がやりやすくなったとする肯定的な意見が多く見られた。

「後期選抜受検の生徒が増えて、学習に取り組む姿勢が向上した」などの意見が多かった。

「私立高校との併願が増えた」、「受検のチャンスが減り、志願が慎重になる」など昨年と同様の指摘も見られた。

募集の観点や合否基準の明確化、志願理由書や面接について、改善の要望があげられている。

主な意見

()内の数値は郡市数ではなく回答数

(1) 前期選抜改善に伴う進路指導上の変化など学校や職員への影響

一人一人の志望に応じた進路指導に時間がかけられるようになり、手厚く指導を行うことができた。(38)

面接、作文、志願理由書等の事前指導、事務処理などが減り、進路指導上の負担が軽減された。(22)

前期合格者の生徒指導には引き続き難しい面がある。(15)

進路指導の困難さは以前とさほど変わらなかった。(9)

(2) 前期選抜改善に伴う受検生への影響

後期選抜受検の生徒が増えて、生徒の意識や学習に取り組む姿勢が向上した。(46)

私立高校との併願が増えた。(7)

受検のチャンスが減り、志願が慎重になる傾向が見られた。(6)

(3) 前期選抜について改善の必要があると思う点

募集の観点や合否基準をさらに明確にしてほしい。(21)

志願理由書の内容をもっと簡略化あるいは全高校で統一できないか。(16)

面接のしかたや待ち時間について改善してほしい。(10)

(4) 高等学校入学者選抜全般に関する意見・要望

選抜日程の見直しをしてほしい。(12)

[別紙 3]

公立高等学校長に対する
平成 24 年度入学者選抜に関するアンケートの集計結果

[概要]

全日制普通科 28 校が前期選抜を取りやめて 2 年目ということで、制度が定着してきており、前期選抜に関する意見は少なかった。

制度を変更した昨年度に比べ、前期選抜、後期選抜ともに志願者数や受検倍率に大きな変化は見られなかったという意見が多かった。

前期選抜を実施した学校においても、他地区や私立高校への進学が増えたため、志願者数が減少する学校が見られた。

主なもの

()内の数値は同様の回答をした学校数

(1)前期選抜を実施しなかった普通科 28 校の様子

状況	理由として考えられること
志願動向等に大きな変化は見られなかった。(6)	前期選抜を取りやめたことが、中学生や保護者にも冷静に受け止められていると思われる。
私立との併願が増えた。(3)	早く合格したいと考える生徒が志願したためと思われる。

(2)前期選抜を実施した学校の様子

状況	理由として考えられること
志願動向等に大きな変化は見られなかった。(9)	制度が定着してきているためと思われる。
志願者数が減少した。(7)	他地区や私立高校への進学が増えていると思われる。
地元中学からの志願者数が増加した。(3)	都市部の前期選抜がなくなったことにより、地元への志願が増えたと思われる。

(3)要望、その他

- ・職業科の前期選抜の募集枠を拡大してほしい。(7)